

稲城市

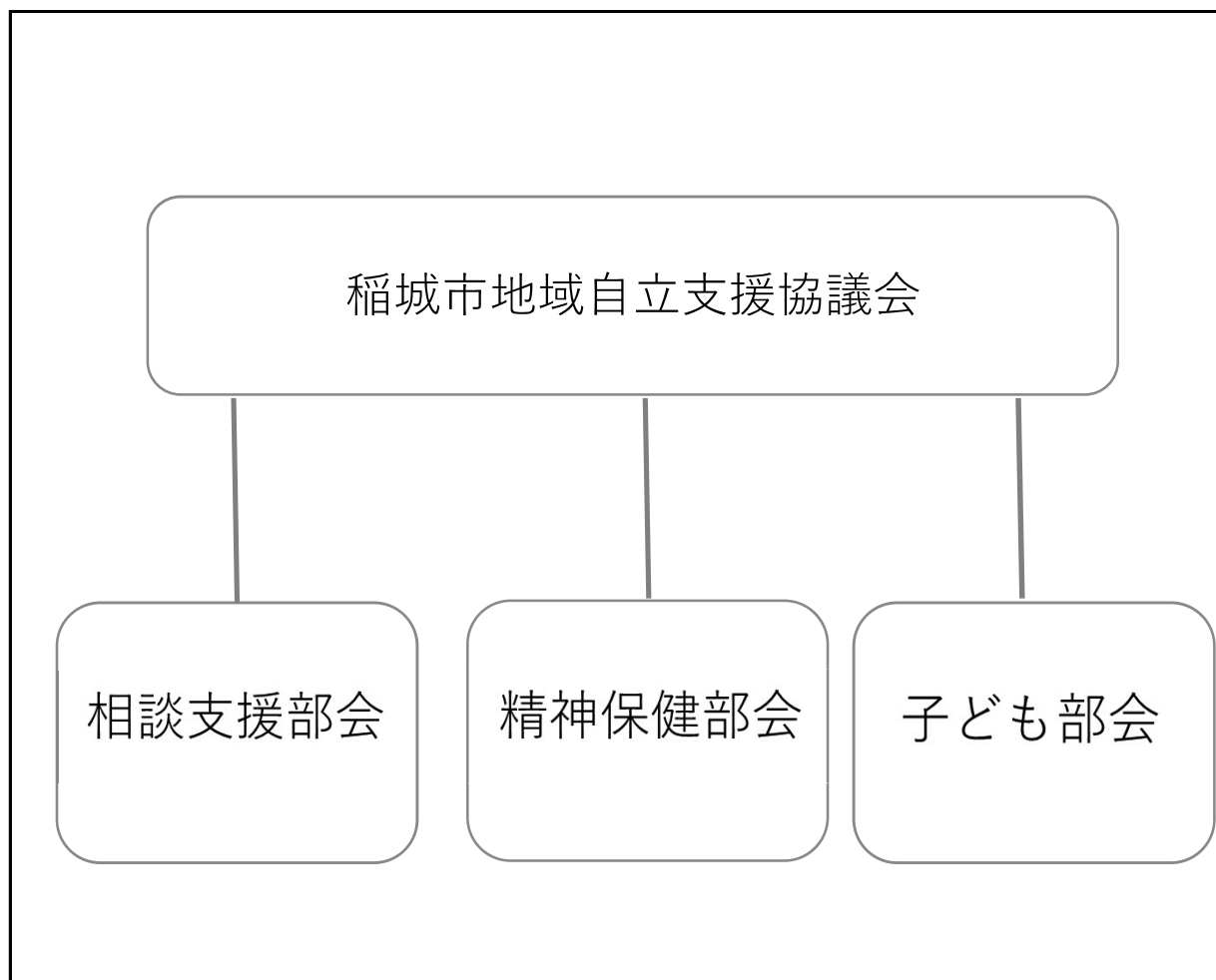
【名称】稲城市地域自立支援協議会

【ホームページURL】 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/kenko/syougai Fukushi/sonota/gjiroku.html>

【設置年月】平成19年9月

【運営方法】直営

【組織図】



【相談支援体制の整備状況】

基幹相談支援センター数	委託相談支援事業所数	指定一般相談支援事業所数		指定特定相談支援事業所数	指定障害児相談支援事業所数
		地域移行支援	地域定着支援		
1	2	0	0	4	3

【地域生活支援拠点等の整備状況】

整備状況	整備時期	整備類型
① 整備済	令和3年3月	② 面的整備型

【日中サービス支援型共同生活援助の有無】

日中サービス支援型共同生活援助の有無

開設の有無	開設時期
③ なし	—

【全体会及び専門部会の活動回数及び委員数】

全体会の活動回数及び委員数

全体会	
回数	委員数
3	12 (1)

専門部会の活動回数及び委員数

部会名	回数	委員数
相談支援部会	4	11 (0)
精神保健部会	4	10 (0)
子ども部会	3	8 (0)

※「委員数」の（ ）：障害当事者（本人）で委員に就任されている方の人数（再掲）

【全体会の委員構成及び活動内容】

（１）委員構成

種別	人数	種別	人数	種別	人数
学識経験者	1	医療関係者	1	保健所	1
教育関係機関	1	雇用関係機関	1	企業	0
障害当事者・家族・関係団体	2	身体・知的障害者相談員	0	相談支援事業者	0
障害福祉サービス等事業者	3	社会福祉協議会	1	法曹関係者	0
民生委員・児童委員	1	地域住民	0	行政職員（区市町村）	0
行政職員（都）	0	その他	0		
合計		12			

委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考
1	会長	藏野 ともみ	大妻女子大学	学識経験者	
2	副会長	山本 あおひ	社会福祉法人 正夢の会	障害福祉サービス等事業者	
3		寺尾 和子	稲城市社会福祉協議会	社会福祉協議会	
4		石川 哲	NPOわくわく	障害福祉サービス等事業者	
5		高橋 俊豪	NPO友遊クラブ	障害福祉サービス等事業者	
6		糸川 須美	東京都南多摩保健所	保健所	
7		津野 由記子	島田療育センター	医療関係者	
8		青野 修平	社会福祉法人 正夢の会	雇用関係機関	
9		池永 満寿美	都立多摩桜の丘学園	教育関係機関	
10		進藤 直人	稲城市身体障害者福祉協会	障害当事者・家族・関係団体	
11		高野 玲子	稲城市精神障害者家族会	障害当事者・家族・関係団体	
12		狩野 和枝	民生児童委員	民生委員・児童委員	

（２）活動内容

地域生活支援拠点等についての検討や、個人記録手帳の効果的な活用方法等の検討

【専門部会の委員構成及び活動内容】

(1) 委員構成

種 別	部 会 名		
	相談支援部会	精神保健部会	子ども部会
学識経験者	0	0	0
医療関係者	0	1	0
保健所	0	2	0
教育関係機関	0	0	0
雇用関係機関	0	0	0
企業	0	0	0
障害当事者・家族・関係団体	0	0	0
身体・知的障害者相談員	0	0	0
相談支援事業者	8	2	0
障害福祉サービス等事業者	0	2	8
社会福祉協議会	3	1	0
法曹関係者	0	0	0
民生委員・児童委員	0	0	0
地域住民	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	2	0
行政職員(都)	0	0	0
その他	0	0	0
計	11	10	8

(2) 活動内容

部会名	活動内容
相談支援部会	相談支援事業者の意見交換、事例検討及び情報共有等
精神保健部会	精神障害領域のケース検討、意見交換及び情報共有等
子ども部会	障害児（医療的ケア児・者含む）についての課題検討、意見交換及び情報共有等

【地域協議会の活動状況】

1 地域協議会の協議事項（複数回答）

① 相談支援事業の運営体制に関すること

相談支援部会を通じて相談支援のあり方等について協議を実施

⑥ 困難事例等の解決に向けた検討に関すること

関係機関が複数で関わりを持つことの重要性について事例を基に共有

⑦ 関係機関や他分野のネットワークに関すること

ライフステージにわたって支援を引き継ぎ、各ステージで必要な情報を共有する個人記録手帳の効果的な活用について協議

⑩ 地域生活支援拠点等の整備に関すること

地域生活支援拠点等の体制や具体的な運営方法について、協議を実施

⑫ 地域自立支援協議会の運営に関すること

協議会のあり方について

2 地域協議会としての役割（複数回答）

② 情報共有・情報発信

市や事業所の実施した事業の企画や成果について報告

③ 分野を越えてのネットワークの構築

福祉・教育・医療など異分野の委員の意見交換

⑤ 地域課題の整理

困難ケース検討など

⑥ 課題解決に向けての検討

現状把握と不足する資源の洗い出し

3-1 地域協議会における地域課題

① あがっている

3-2 地域課題の把握方法（複数回答）

② 全体会、専門部会、各種連絡会等

3-3 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等（複数回答）

② 社会資源の開発及び改善

検討中

⑥ 緊急・災害等対応

地域生活支援拠点等における緊急時の受入体制の拡充

⑬ その他（地域生活支援拠点の内容について）

拠点等事業所登録の推進等

3-4 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

⑬ その他（地域生活支援拠点の内容について）

各地域、制度設計や内容において、具体的な整備イメージが付いておらず、統一性がない状態である。内容が曖昧であったり未整備の自治体も多いため、当市も具体的内容を定めづらい。都取りまとめによる研修会や具体的指針をいただく機会があれば、推進につながると考えます。

4 地域協議会における当事者の参画状況

(当事者の委員がいる区市町村)

4-1 (1) 当事者委員が、どのような経緯で委員に選任されたか、又は、どのような所属、背景、経歴等の方が

稲城市身体障害者福祉協会

(2) 多様な当事者の委員(障害や難病の種別、性別、年齢等)に参加していただくに当たり、取り組んでいること、課題になっていること

偏りなく意見を聴取すること。

(地域協議会を設置している区市町村)

4-2 当事者の委員だけでなく、地域で生活する多様な当事者(障害や難病の種別、性別、年齢等)の声を吸い上げられる地域協議会にするために、取り組んでいること、課題になっていること

各部会で個別のケースについても着実に対応を検討し共有すること。障害福祉計画作成の際は、アンケートにより広く意見を募ること。